

『溶接甲子園』で優秀賞獲得

県央工業高校
機械加工科3年

家坂繁樹さん(17歳)

全国予選勝ち抜いた19人出場

“選外”の昨年の雪辱晴らす

前向き努力が結果に

第三回全国選抜高校生溶接技術競技会 溶接甲子園が三日、愛媛県新居浜市で開かれ、県立新潟県立工業機械加工科三年、家坂繁樹さん(二年)・長岡市は、位にあたる優秀賞を獲得した。貴に入らず順位つかなかつた昨年の雪辱を晴らし、「練習以上か、それと同じくらい力が出せた」と、県勢初の入賞を喜んでいる。

アーチ溶接のコンテスト 全国九つのブロック予選にて、業界団体などによることで、審査員会が主催。 家坂さんが臨んだ「被

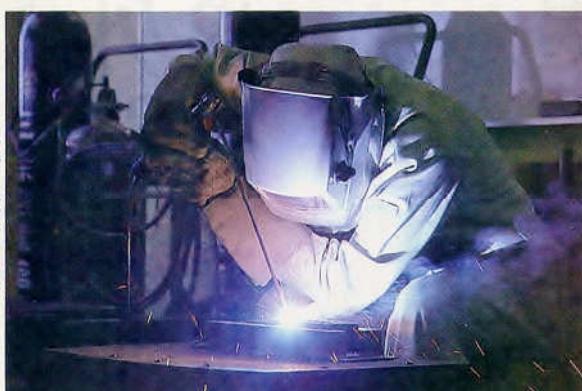
トで、競技では縦百三十五ミリ、横百五十ミリ、厚さ九ミリ、表面のビード溶着金属の制限時間内に溶接した。

る実行委員会が主催。 場した。

アーチ溶接部門」には、



全国大会で二位に入った県央工業三年の家坂繁樹さん



アーク溶接を実演する家坂さん



学校で保管している練習の成果



一枚の銅板を合わせてピードを盛る。

予選は県レベルと地方
ブロックで年度をまたぐ
ため、高校三年間で出場
機会は二回だけだ。
家坂さんはものづくり
へのあこがれから県央工
業に入り、一年の夏、機
械工作部の活動で初めて
溶接に触れた。その年の
県大会で二位、翌年の関
東甲信越では三位に入
った。しかし、この年は
技術の習得に努めた。
本期は県大会で首
続く関東甲信越は首
一点差の二位入り。
賞。顧問の風間守樹教
師は「何でも前向きにこ
といた」とたたえる。

度な出向に位で、二の入教諭席、努力粘び。

愛媛など西日本の電源周波数は、新潟など東日本とは異なる六十ヘルツ。本番はその影響を懸念したが、前日練習で不安を拭ききだ。

が加わる表面の仕
事項目が四点にとど
いた。得点一覧は公表
され、首席の最優
秀賞が、元愛媛県立
高校の八点満点だつ
た。得点は、上位に取
られた地元の高校だつ
た。得点は、上位に取
られた地元の高校だつ
た。

上がり
しまつ
り、県央工業勢で初の
国舞台進んだ。
経験不足から入賞
逃したが悔しさをも
に一日一作品のペースで
練習を重ねた。学校
の生徒
争いだ
たとみ
管している山のよち
物語る。長胡木みま
品のビード部分が劣
い。

の全進路は接続にかかるていてるボロズ

就職を希望し、
かわりたいと考
え。一機械に頼ら
ずつに負けない